

大安寺報

第70号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daianji.jp
http://www.daianji.jp

名句・名言に学ぶ

昇った日は沈まねばならぬ
咲いた花は散らねばならぬ
生まれた者は死なねばならぬ
これは自然の法則である
だから悲しむことはない
大切なはその刻々を
どう生かして来たかにある

坂村真民(仏教詩人)

太陽が真西に沈むお彼岸の中日は、多くの方がお寺やお墓に足を運び、彼岸(悟り・み仏の世界)におわす亡き方々に思いを馳せる機会です。空気が澄んだこの季節、美しい夕焼けの景色は何ともいえない郷愁を感じさせます。と同時に、この時期は咲き誇った花々が散り、また、紅葉した木々の葉が舞い散る季節でもあります。それらを眺めながら、そこはかとない寂しさを感じる方も多いのではないのでしょうか。一方、秋は実りの季節でもあります。りんごなどの果樹は、散った花から小さな実をなし、

夏の暑さを乗り越え、秋になるとたわわにその実を実らせ、恵みを与えてくれます。冒頭の詩にあるように、そんな自然の摂理と同様に、この世に生まれたならば、やがては老い、病に倒れ、死なねばならないのが私たち人間という存在です。この彼岸を、亡き方々を供養する中で、死を自分事としてとらえ、今後自分はどうか生きるべきか、与えられた時間をどう生かすかについて考える機会としたならば、その意義もより大きくなるのではないのでしょうか。また、併せて、果樹が果実を与えてくれるように、亡き方々が私たちにどんなことを残してくれたのかに思いも馳せては如何でしょうか? 何より、それはいのちであり、さらには生き方・生き様なのではないのでしょうか? そしてまた、亡くなってこの世を離れる様を見せてくれたことにより、縁ある者にいのちのほのかなさ、そしてかけがえの無さを伝えてくれたのではないのでしょうか? お参りの際、そのことに思いを致していたければ有難く存じます。

合掌

仏事

Q&A 第四十五回

Q. 彼岸会とはどんな法要ですか?
A. 彼岸会は、春分と秋分の火とその前後三日間の、一週間にわたって行われる祖霊供養の儀礼です。

その由来については諸説あります。儀礼そのものの歴史は古く、九世紀の初めに朝廷による国家的祭祀の一つとして行われていたようです。江戸時代には広く一般庶民にも浸透しました。お彼岸の前日には、お仏壇や仏具を清め、供花もかえます。春分・秋分の日に当たる中日には、おはぎなどを供え、お寺参りやお墓参りをします。また、お寺では彼岸会の法要が営まれます。

お彼岸の間は、ご先祖さまへの感謝の気持ちで新たに、まごころをもって供養することが大切です。「彼岸会」の「彼岸」とは、「あの世」を意味する言葉ですが、同時に、一切の迷い・苦しみのなくなった仏さまの悟りの世界も意味します。お彼岸の間は、ご先祖さまへの飲食物の供養だけでなく、み教えにかなった善い行いをすることを心がけることも忘れてはなりません。

【法事依頼について】

- 電話、来寺、メールにて以下をお知らせください。
- ① 供養対象の方(亡くなられた方)のお名前(フルネームで)
- ② 何回忌か、及び供養対象の方の命日
- ③ 希望日時(希望に沿えない場合があります)
- ※極力、前日までにあげもの(供物/内容自由)をお届けください。(花は任意)
- ※会場は原則的に当寺本堂です。
- ※塔婆料は一周忌・三回忌までは二千元、七回忌以降は五千元です。お布施と別にお持ちください。
- ※当日は供養対象の方のお位牌を御持参ください。(位牌堂のお位牌でも可)
- ※当日は遅くとも五分前までに本堂にお越しください。(前の法事が終わっていない場合は、本堂向かって右の庫裡にある法要控室でお待ちください)

【維持費納入について】

○令和四年度維持費(四千元)の納付期限は令和四年十二月三十一日です。なお、期限を過ぎても納付可能です。納付忘れのないようお願いいたします。

各種講座のご案内(令和四年九月~十二月)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当面の間、茶話会の開催は見合わせます。

◆「月例写経・写仏会」(予約不要)

日時 九月二十五日(日)、十月三十日(日)、十一月二十七日(日)、十二月二十五日(日) 午後二時~三時

内容 一三法話/写経・写仏

場所 中広間 参加費 一三百円 備考 椅子席

◆「暁天坐禅会」(予約不要)

日時 九月十八日(日)、十月九日(日)、二十三日(日)、十一月六日(日)、二十日(日)、十二月四日(日)

午前七時~八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合

内容 禅語紹介/坐禅/法要

場所 本堂 参加費 無料 備考 椅子坐禅可能 服装 動きやすい服装で(スカート・ジーンズ不可)

行事カレンダー(令和四年九月~十二月)

■九月二十三日(金)・秋分の日

「秋季彼岸会法要」(本堂)午前十一時

※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて

■十二月八日(木)

「成道会法要」(本堂)午前十一時

※お釈迦さまの成道(お悟りを開いたこと)にちなみ、報恩感謝する法要です。

編集後記

昨年八月の大雨災害に引き続き、今年もまた大雨に見舞われました。大畑地区の被害は少なかったものの、むつ市内は脇野沢・川内地区において大きな被害に見舞われました。地球温暖化の影響で大雨による災害リスクは高まっていると言われます。油断せずに常に備えたいものです。

次号のご案内 令和四年十二月下旬に発行予定です。

行事予告

「キャンドルライト寺ヨガ2022秋」

キャンドルの灯が揺れる中、ヨーガ・坐禅を体験できる行事を開催します。日常を離れ、ご自身の身体と心に向き合う静かな時間を過ごしませんか?

■日時: 令和四年九月三十日(金)

午後七時~九時(六時四十五分受付開始)

■場所: 大安寺本堂

■定員: 三十名(先着順)

■講師: 中島敬子・長岡俊成

■参加費: 五百円(当日申し受けます)

■持ち物: ヨガマット(バスタオル可)

／動きやすい服装で/マスク/水分補給のできるもの

■申し込み: 左上の二次元コードをスマートフォンで読み取り、申し込みフォームに必要事項を入力の上で送信ください。



曹洞宗テレホン法話
曹洞宗宗務庁運営
0120-508-740
携帯の方は 03-3454-5410

曹洞宗テレホン法話
「心の電話」
東北管区教化センター運営
022-218-4444
http://soto-tohoku.net/
tel-sermons/



大安寺
公式ホームページ

スマートフォン・
タブレット端末の
カメラ機能で
読み取ってください。



大安寺
公式 facebook ページ